

鉄道車両産業における課題及び対応の方向性(概要)

我が国鉄道車両産業において、これまで需要の中心であった国内市場は、今後頭打ちになる一方、海外市場は拡大が見込まれており、業界の更なる成長のためには、海外需要の積極的な取り込みが必要。

しかし、鉄道車両産業の海外展開の促進には、生産能力(特に設計キャパシティ)の充実、欧州ビッグ3や中国中車など海外メーカーに対する競争力強化、保守サービスを含む発注のパッケージ化への対応能力の向上、現地生産化に係る相手国からの要請への対応など、多くの対処すべき課題が存在。

一方、国内市場にあっては、鉄道事業者がそれぞれのインフラ事情や利用者ニーズ等に応じた車両をメーカーとの協働により導入。我が国の安全で利便性の高い鉄道を支えている点等に留意しつつ、車両の標準化等による生産効率化を追求。

1. 今後の成長戦略に向けて

課題

- ▶海外市場の需要の取り込み

対応の方向性

- ▶引き続き重要な市場である国内市場に対応する一方、アジアはもとより、欧州、北米等の海外需要を積極的に取り込み

2. 海外展開の主な課題

課題

- ▶生産能力、特に設計キャパシティの充実
- ▶欧州や中国などの海外メーカーに対する競争力強化
- ▶保守サービスを含む発注のパッケージ化傾向への対応
- ▶現地生産化要請への対応

対応の方向性

- ▶海外向け車両の仕様の検証による設計負担軽減
▶OB人材や他部門人材の活用等
- ▶品質、納期遵守等日本の強みを生かした取組の強化
▶付加価値を高めた差別化
▶内外企業との連携
- ▶車両メーカーの保守サービスへの対応能力の向上
▶鉄道事業者による参画・支援
- ▶直接投資等、具体の対応を検討

海外展開円滑化に向け、国は、我が国技術の国際標準化の推進、国内認証機関の充実、海外向け車両の仕様の検証等を推進

3. 国内向け車両における生産効率化

課題

- ▶車両メーカーの設計負担・生産コストの軽減、鉄道事業者の車両コストや保守負担軽減等を考慮した生産性向上

対応の方向性

- ▶安全性の確保のほか、企業間の差別化と生産の効率化のバランスに留意しつつ、車両の標準化等により、生産の効率化を追求